

## 11. 消化管、肝胆膵の疾患

### 文献

川内泰子、林田道子、竹内稚依、ほか. 婦人科手術後の悪心・嘔吐に対する Acupressure の効果 臨床麻酔 2000; 24(1): 21-4. 医中誌 Web ID: 2000127596

#### 1. 目的

術後の嘔気嘔吐に対する内関 (PC6) への指圧バンド (acupressure band) の有効性の評価

#### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

#### 3. セッティング

都立府中病院麻酔科、東京、日本

#### 4. 参加者

1997年9月から1998年8月の間に全身麻酔で開腹手術を予定した婦人科良性疾患患者

#### 5. 介入

Arm 1: 経穴指圧群 (52名、45±7歳)。術前に指圧バンド (Sea band® Sea Band UK Ltd.) を両側の内関 (PC6) に装着し (バンドの下のプラスチック球が経穴に当たる)、術中は麻酔科医により 30分ごとに圧迫、術後は患者本人により術後 24時間まで随時圧迫した。

Arm 2: コントロール群 (52名、46±6歳)。無介入。

#### 6. 主なアウトカム評価項目

悪心嘔吐の有無 (問診による) および制吐剤点滴の使用状況 (看護記録による)

#### 7. 主な結果

術後に悪心あるいは嘔吐をきたした患者数は、Arm 2 に比べて Arm 1 で有意に少なかった (それぞれ  $P < 0.05$ ,  $P < 0.001$ )。また、制吐剤の点滴を使用した患者数も Arm 1 で少なかったが有意差はなかった。当初の登録人数は記載されていないが、指圧バンドのプラスチック球が内関からずれていたものは除外して解析した。

#### 8. 結論

内関への指圧 (acupressure) は術後の悪心嘔吐の予防に有効である。

#### 9. 鍼灸学的言及

鍼の悪心嘔吐に対する治効メカニズムに関して、鍼による神経化学物質の分泌、胃蠕動運動の亢進などの報告についての記載がある。

#### 10. 論文中の安全性評価

16名の患者で手に軽度の浮腫がみられた。

#### 11. Abstractor のコメント

本研究は、術後の悪心嘔吐に対して指圧バンドの装着が予防的な効果があるかどうかをみた非常にシンプルな臨床試験で結果も明快である。改善すべき点としては、ランダム割付の方法に関する詳細な記載がない、アウトカム評価項目として定量的な評価項目がない、著者も論文中で述べているが、指圧バンドに制吐作用があると患者に説明した後に装着しているためバイアスの存在が考えられることが挙げられる。

#### 12. Abstractor

若山育郎 2011.9.9